

アルミ・ステンレス・スチール・ブロンズ： さまざまな金属から、 お客様のイメージを形として残す

M.P.S.



平成27年12月に完成した新社屋

シヨールーム」と蓑田社長が語る通り、外観はもちろん、内部の至る箇所から同社の建築金物の技術力の高さを窺い知ることがができる。

また、森林事業も手がけており、地球温暖化対策として、熊本県に社有地、借地を併せた80haの森林を育成することで、子どもたちの未来のために温室効果ガスの削減に取り組んでいる。一見本業とは無縁そうでも、「常に挑戦し続け、新たなモノを生み出し技術の確立をする」という同社の経営理念と深く関係しており、新しいモノ造り、技術を確認していくには、未来へ責任を持つこと、環境保全活動の継続は不可欠である。

「日本のモノ造りの技術力をもう一度原点に立ち返らせ、さらに新しい技術への挑戦により、世界へ発信し、そして未来へつなげていきたい」と、蓑田社長の想いは尽きない。

M.P.S.(藤沢市遠藤、蓑田邦将社長、0466・21・6636、<http://www.mps2005.com/>)は、平成17年12月に設立され、スチール・ステンレス・アルミ・銅・真鍮・コールテン鋼・ホーロー鋼板などの建築金物の設計、製作、施工を営んでいる。

一言で建築金物といっても、同社の手がける製品はアルミ手摺、ステンレス手摺、ガラス手摺、アルミ庇、アルミ庇パネル、有孔折板(ゆうこうせつぱん)、木製ルーバーなど多岐にわたる。営業部、設計部、製造部、工事部と社内にて一貫した製造工程を整え、ワンストップで確実な意思伝達と短納期での対応により、多様な顧客ニーズに応え続けている。

10周年を迎えた平成27年12月、藤沢市遠藤に本社新社屋を完成させた。「新社屋は弊社の



同社の高い技術力を体感いただける自社製ディスプレイと製品サンプル